
4 0 2 2. 積荷目録情報追加登録

業務コード	業務名
MFA	積荷目録情報追加登録

1. 業務概要

積荷目録情報に登録されなかった以下の貨物情報及びコンテナ情報を追加登録する。

なお、追加登録した内容の訂正及び取消しを本業務で行うことができる。

- ①包括保税運送承認に係る個別運送情報
- ②仮陸揚貨物保税運送情報
- ③危険貨物等情報
- ④卸コンテナ自動抽出対象外情報

2. 入力者

通関業、保税蔵置場、CY

3. 制限事項

1 船舶情報*¹に対して本業務を行える利用者数は最大90件とする。

(* 1) 船舶情報とは、以下の4項目を指す(以下、同様)。

- ①船舶コード
- ②船会社コード
- ③船卸港コード
- ④船卸港枝番

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

(A) コンテナ貨物の場合

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②「積荷目録情報登録(MFR)」業務で指定されているCYであること。
- ③本業務の入力者が既に登録されている場合は、同一の入力者であること。

(B) 在来貨物の場合

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②本業務の入力者が既に登録されている場合は、同一の入力者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 積荷目録管理DBチェック

- ①入力された船舶情報に対する積荷目録管理DBが存在すること。
- ②仮陸揚貨物保税運送情報の登録の場合は、当該港の積荷目録情報について「積荷目録提出(DMF)」業務が行われていないこと。

(4) 積荷目録情報CY一括訂正管理DBチェック

入力された船舶情報に対して、「積荷目録情報CY一括訂正(CMC)」業務による内部処理中でないこと。

(5) 貨物情報DBチェック

B/L番号が入力された場合は、以下のチェックを行う。

- ①貨物情報DBが存在すること。
- ②入力された船舶情報に対する積荷目録情報が登録されていること。

- ③MFR業務で船卸先としてCYが指定された貨物の場合は、船卸確認された旨が登録されていないこと。
 - ④MFR業務で船卸先としてCYが指定されていない貨物の場合は、「保税運送申告（OLC）」業務、「保税運送申告（事項登録あり）（OLC20）」業務、「搬入確認登録（保税運送貨物）（BIA）」業務、「本船・ふ中扱い承認申請（HFC）」業務または「本船・ふ中扱い承認申請（HFC20）」業務が行われていないこと。
 - ⑤包括保税運送承認に係る個別運送情報または仮陸揚貨物保税運送情報の登録の場合は、既にMFR業務または「積荷目録情報訂正（CMF01、CMF02またはCMF03）」業務でその旨が登録されていない、または到着即時輸入申告の旨が登録されていないこと。
 - ⑥包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合は、貨物到着前輸入申告の旨が登録されていないこと。
- (6) コンテナ情報DBチェック
- コンテナ番号が入力された場合は、以下のチェックを行う。ただし、前港の「船積確認登録（CCL）」業務が行われる前に次港情報に対して追加登録を行う場合は、②～④のチェックを行わない。
- ①コンテナ情報DBが存在すること。
 - ②入力された船舶情報に対する積荷目録情報が登録されていること。
 - ③仮陸揚空コンテナでないこと。
 - ④船卸確認された旨が登録されていないこと。
- (7) 仮陸揚空コンテナ次港情報DBチェック
- コンテナ番号が入力された場合で、前港のCCL業務が行われる前に次港情報に対して追加登録を行う場合は、以下のチェックを行う。
- ①仮陸揚空コンテナ次港情報DBが存在すること。
 - ②入力された船舶情報が登録されていること。
 - ③仮陸揚空コンテナでないこと。
- (8) 包括保税運送DBチェック
- 包括保税運送承認に係る個別運送情報を登録する場合は、以下のチェックを行う。
- ①入力された包括保税運送承認番号の包括保税運送DBが存在すること。
 - ②本業務入力者と包括保税運送DBに登録されている包括保税運送承認を受けた者が同一であること。
 - ③本業務入力年月日が運送承認期間を過ぎていないこと。
 - ④コンテナオペレーション会社コードが「99999」以外の場合は、当該社が管理する保税地域と、包括保税運送承認を受けた発送地が同一であること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 貨物情報DB処理

B/L番号が入力された場合は、以下の処理を行う。

- ①入力情報により貨物情報DBを更新する。
- ②本業務入力者が登録されていない場合は、本業務入力者を登録する。

(3) コンテナ情報DB処理

コンテナ番号が入力された場合は、以下の処理を行う。ただし、前港のCCL業務が行われる前に次港情報に対して追加登録を行う場合を除く。

- ①卸コンテナ自動抽出対象外識別に「A」が入力された場合は、卸コンテナ情報登録処理で自動抽出しない旨を登録する。
- ②卸コンテナ自動抽出対象外識別に「B」が入力された場合は、卸コンテナ情報登録処理で自動抽出しない旨を取り消す。

(4) 仮陸揚空コンテナ次港情報DB処理

コンテナ番号が入力された場合で、前港のCCL業務が行われる前に次港情報に対して追加登録を行う場合は、以下の処理を行う。

- ①卸コンテナ自動抽出対象外識別に「A」が入力された場合は、卸コンテナ情報登録処理で自動抽出しない旨を登録する。
- ②卸コンテナ自動抽出対象外識別に「B」が入力された場合は、卸コンテナ情報登録処理で自動抽出しない旨を取り消す。

(5) 積荷目録管理DB処理

包括保税運送承認番号が登録または取消された場合は、以下の処理を行う。

- ①包括保税運送承認番号が登録された場合は、入力された船舶情報およびCY毎に包括保税運送承認番号が登録されたB/L件数を加算する。
- ②包括保税運送承認番号が取消された場合は、入力された船舶情報およびCY毎に包括保税運送承認番号が登録されたB/L件数を減算する。

(6) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者